

第30号
平成23年5月



もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市出水4-25-1
096-364-7611
<http://yamadasu.com/>
E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp

戦時中の西医学の実績（その一）

戦争は、互いの生存をかけたギリギリの戦いです。悠長な事は言ってもらえません。さし迫った事態に迅速で的確な対応をしなければなりません。本物の真価が発揮される時もあります。それで、西医学の真価を知っていただくため、戦時中の西医学の活躍をご紹介しますと思います。

毛管の効果 静岡県 鈴木竹雄
…昭和22年2月発行 月刊西医学…

私は、西式治験のお蔭で復員の時には、部隊長から、賞状をもらいました。部隊長の歩行困難を招いていた神経痛を二週間で治癒せしめ、戦友の大多数のヒョウソを救い、肋膜炎の早期発見をして、軍医に不思議がられる等のことがありました。その内毛管の卓効について在隊中の治験の思い出話の一つをここに申すことにしました。

私の部隊は馬匹部隊であった為か、非常にヒョウソが多かった。月に一人や二人はヒョウソ化膿で必ず手術を受けていた。

ヒョウソは最初痛み出してから化膿する迄には普通二日乃至四日を要し、軍医の手術を受ける時には、大の男が泣いて痛み、手術後は甚だしい疼痛に堪えかねて、夜なぞ一睡も出来ず、輾転反側、はたの見る目も気の毒の限りである。皆が申合わせたように、飯盒に冷水を入れ、それに痛む指を浸けて、ひたすらに此の痛みの止まるのを希むのであるが、これが止まるには、二週間はかかりそれが止まってもこの傷口がふさがるまで迄には更に二週間を要する。やれやれと思って仕事が十分に出来得ようになるには、軽くて一ヶ月半はかかるのである。かくも永い憂うつな治療を終わって「まあよかった」とほっとすると、又外の指がヒョウソにやられ、再び苦悩の生活を繰り返すようなことが多かった。

当時、私は作業終了後必ず毛管を実行した。クレゾール液で洗うよりも効果があったが、私はそれを固く信じて、常に実行していた。最初私の毛管を見て、他の戦友は、一寸まねて、どっと笑い、その理由、効果を説いても一向相手にされず、終いには狂人扱いをすら受けるようになった。かくするうちに、私の一番親しくしている戦友が、遂にヒョウソにやられた。私に「指が痛んでしようがないが、どうしたのだろう。どうして治したらよかろう」と相談に来た。一見してヒョウソであることが判った。私は「早速軍医の診断を受けろ。これはヒョウソに違いないぞ」と言ってやった。軍医の診断を受けると、果たしてヒョウソであった。軍医からは、「三日経ったら来い、切ってやる」との申し渡しがあった。

戦友はヒョウソのつらさを日頃見ているから半泣きの状態である。私は毛管の効果を絶対に信じている。私は笑いながら「こうしろよ。そうすれば軍医が切ると言われた三日後には、きれいに治ってしまっているぞ」と毛管の方法を指導した。副木を当てて指がぶつからぬ様にして、毛管をさせた。すると果して、三日後の診断の時には、軍医から「治っているぞ。どうして治した。不思議だぞ。」と色々聞かれる。そこで戦友は、私から、毛管を教えられたこと、毛管の方法などを話した。

軍医は私を呼び出して、色々質問をせられた。しかし、浅学の私には、毛管の原理の説明は本当に骨が折れた。そこで家から西先生の本を取り寄せたり、駐屯地鷺津に居住せられる会員の小野田さんから拝借したりして、説明に大童であった。それから後は、私の隊では、二週間も三週間も、痛がって泣くヒョウソ患者が出なくなったのである。初め間違い扱いにされていた私が、軍医以上に信用され、病気になると、何でも持込まれて、大仕事であった。私は入隊当初を思い出して、微苦笑を禁じ得なかった。

解 説

1. ヒョウソ…指の急性化膿性炎症。馬匹部隊の場合、馬の世話の際、指をケガして細菌が入って化膿することが多かったと思われる。指の特性で炎症が深部に進行し、豊富な知覚神経のため激痛となる。
2. 毛管……西医学健康法の毛管運動のこと。毛細血管の毛細管現象を活発にするため、毛管運動と命名された。実際の方法は心臓より上に手指、腕を挙げて微震動を行う。多分ヒョウソの場合は、3分間行い、1分間休み、これを一日中していたと思われる。正確に記すと、この運動により、動脈と静脈を直接連結している動静脈吻合という血管が働いて、急速な血液循環が生じ、腫れや痛みをなくす。又、感染症の元である細菌は生存できなくなり、感染症も治癒するということになる。山田整骨院で骨折等の治療に用いて、早く治るのはこの原理を用いるからである。